

# とらのもん

- 皮膚にもがんができる
- 呼吸器センター外科のご紹介
- 『医療連携懇談会』開催報告
- 駐車場利用制限について



〈桜 小室山公園〉

基本理念： 医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、  
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

## はじめに

皆様は皮膚病と聞いて、まずは何を思い浮かべられますか？アトピー性皮膚炎、にきび、水虫、いぼ、かぶれ……まず頭に浮かばれるのはそういった広く知られた病気かもしれません。

それでは皮膚癌はご存知でしょうか？皮膚にも癌ができるのですか？そうおっしゃられる患者さんが多くいます。しかし、皮膚癌が原因で亡くなる方は決して少なくはありません。

少し馴染みはないかもしれませんが、皮膚にも癌ができるということ、そしてどういった種類、症状があるのか。今回は簡単にお話させていただきます。

## 癌細胞とは？

本来、人の身体・細胞は一定の調和を保って生活しています。ところが、調和に従わないで勝手に行動する細胞があらわれることがあります。これが癌細胞です。発癌した癌細胞は大きくなり、各部位に転移し、最後には人の生命を奪います。

## 癌はどこにできるのでしょうか

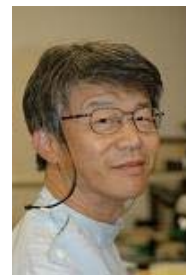
癌は人の体のどこにでも、あらゆる臓器・組織にできます。胃や腸、肺や乳房、子宮や膀胱、あるいは骨（骨肉腫）や血液（白血病、リンパ腫）、脳や鼻・眼だって例外ではありません。そして皮膚にも癌は発生します。

## 皮膚癌の種類・性質

皮膚癌にはいくつかの種類があります。それぞれの皮膚癌の分け方の基準・分類の仕方も多岐にわたっています。一番オーソドックスな分類方法は、癌細胞の性質や形

## 副院長・皮膚科部長

大原 國章 昭和48年卒



### <専門分野>

皮膚外科、皮膚病理、レーザー治療

### <所属学会等>

日本皮膚科学会専門医・評議員

日本皮膚外科学会会長

日本皮膚悪性腫瘍学会理事、日本皮膚病理学会理事

日本臨床皮膚外科学会理事

状が本来の正常組織のどれと似ているか・共通しているかで分類する方法です。

皮膚でいえば、メラニンを作る細胞（メラノサイト）に似ていればメラノーマ（別名：悪性黒色腫）、皮膚の基本骨格を作る細胞（有棘細胞）に類似なら有棘細胞癌、皮膚の底辺（基底層）の細胞のように見えたなら基底細胞上皮腫（基底細胞癌）、汗を作る細胞（汗腺）と共通ならパジェット病といった分類の仕方をします。

## 皮膚癌の症状

これらの皮膚の変化・症状を診断するのは専門家でなければ難しく、皮膚科医は骨董を鑑定する鑑定士のように、皮膚の病状を判別する鑑定眼を常日頃から磨いています。

ここからは代表的な皮膚癌の症状をお話させていただきますが、皮膚癌は専門医でも視認だけでの判別は難しいことがあり、患者さん自身が正確に判別されることは困難だと思います。

それと、お話をさせていただく症状は代表的なものであり、思い当たる節がございましたら、ご自分の判断だけで皮膚癌に罹患されたと思いつむのではなく、必ず専門医の診断を受けることをお勧めします。

## メラノーマ

気づかない間にホクロのようなシミがで  
き、少しずつ大きくなっていくのが早期の  
メラノーマの特徴です。

通常のシミと異なる点は色調に濃淡が  
あったり、黒、茶色、褐色、灰色などの多  
数の色が入り混じっていることです。

しこりやただれがでてきたら、進行して  
きた疑いがあります。

足の裏に発生することが多いですが、全  
身のどこにでも発生します。

## 有棘細胞癌

主に顔に出現する皮膚癌で、かさかさ  
とした赤みが有棘細胞癌の初期症状です。

そして、かさぶたがついたり取れたり  
を繰り返しているうちはまだ早期癌の状  
態です。

盛り上がってきて、じくじくして血も  
にじむようになり、潰瘍になって皮膚が  
えぐれてくれば進行した状態になった  
ことが懸念されます。

## 基底細胞上皮腫

顔に出現することの多い皮膚癌で、黒  
いしこりとして視認できます。表面が  
つるつると光っているのも特徴です。  
癌が進行していくと中心部が崩れて  
出血しやすくなります。転移したり、  
命にかかわることは少ない皮膚癌で  
はありますが、放置すると周囲の細  
胞を破壊してしまいます。目や鼻が  
つぶれてしまうという点では、他の  
皮膚癌と同様に恐ろしい悪性腫瘍  
です。

## パジェット病

主に陰部に出現する癌で、早期のうち  
はわずかな赤み程度しかありません。  
むずかしい感じがあり、軟膏をつけ  
ても良くなったり悪くなったりする  
ことが多いとパジェット病の初期症  
状が疑われます。

だんだん広がってきて、赤いただれ  
がはっきりし、しこりができてく  
ると進行癌になってしまったことが  
懸念されます。

## 皮膚癌の治療方法

他の癌と同様に、放射線や抗癌剤も  
ありますが、基本的な治療法は手術  
です。手術の方法も色々な方法があ  
りますので、病気の進行具合、皮膚  
癌の発生場所、患者さん本人のご  
希望などを総合的に判断して、最  
適な方法を選びます。癌を切り取  
って皮膚を移植（植皮）したり、  
転移があればリンパ節も摘出しま  
す。

前述させていただいたような症状に  
覚えのある方は、躊躇せずに専門  
医の診察を受けてください。

〈2008年度 皮膚科手術等件数、疾患別新規患者数

■手術・レーザー件数	
外来手術件数	781件
外来レーザー件数	2339件
入院手術件数	283件
入院レーザー件数	160件
■疾患別新規患者数	
悪性黒色腫	29名
乳房外Paget病	16名
有棘細胞癌	16名
基底細胞上皮腫	65名
ボーエン病	11名
隆起性皮膚線維肉腫	4名
付属器癌	2名
血管肉腫	2名



# 呼吸器センター外科のご紹介

呼吸器センター外科医員 一瀬 淳二

## 対象とする疾患

当科では、原発性肺癌・転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍・炎症性肺疾患・嚢胞性肺疾患・多汗症などに対する外科治療を行っています。

### ● 原発性肺癌

通常は無症状で経過し、検診、特に早期のものは胸部CTで発見されます。症状としては、血痰、喀痰の増加、肺炎などがありますが、症状が発現した時には既に進行していることが多いです。

### ● 転移性肺腫瘍

肺は悪性腫瘍が転移してくる好発部位です。大腸癌、肝癌や腎癌などの原発部位の悪性腫瘍が十分コントロールされている場合には、肺の転移巣を切除すると予後の延長が得られることが報告されています。通常は原発の腫瘍の経過観察中に撮影された胸部X線写真や胸部CTで偶然発見され、症状は見られないことが多いです。

### ● 縦隔腫瘍

縦隔腫瘍では通常は無症状で経過し、検診、特に早期のものは胸部CTで発見されます。症状は見られないことが多いですが、時には胸痛や発熱などの炎症症状が見られることもあります。

### ● 炎症性肺疾患

炎症性の肺疾患で手術の対象となるのは、結核が腫瘤状になった結核腫で、画像上肺癌と区別がつかないもの、病変が限局して内科的治療で十分に軽快しない結核、非結核性抗酸菌症や、真菌症があります。結核腫の場合には無症状で偶然発見される場合もありますが、それ以外の疾患では、肺炎の症状が出たり、痰や、場合によっては血痰が出ることがあります。

### ● 嚢胞性肺疾患

自然気胸、巨大肺嚢胞、進行した肺気腫が対象疾患として挙げられます。自然気胸は突然発症する呼吸困難や胸痛がみられるため、比較的容易に診断されます。肺気腫では呼吸困難が徐々に進行するため、十分に自覚されない場合もあります。

## 呼吸器センター外科部長 河野 匡 昭和57年卒

<専門分野>

呼吸器外科学全般、特に低侵襲手術  
肺癌、自然気胸、肺気腫  
転移性肺腫瘍、多汗症、縦隔腫瘍



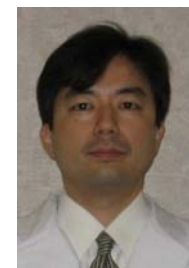
<所属学会等>

日本胸部外科学会認定医・評議員  
日本呼吸器外科学会専門医・指導医・評議員  
日本内視鏡外科学会評議員  
日本気胸・嚢胞性肺疾患学会評議員  
米国胸部外科学会、アジア内視鏡外科学会

## 呼吸器センター外科医長 藤森 賢 平成9年卒

<専門分野>

呼吸器外科学全般  
特に低侵襲手術（胸腔鏡下手術）



<所属学会等>

日本呼吸器外科学会専門医  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医  
日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医  
肺がんCT検診認定医師

## 呼吸器センター外科医員 一瀬 淳二 平成16年卒

<専門分野>

呼吸器外科学全般  
特に低侵襲手術（胸腔鏡下手術）



<所属学会等>

日本外科学会専門医  
日本がん治療認定医機構認定医

他、レジデント2名をあわせた5名が1つのチームを組んで患者さんの診療に当たっています。

### ● 多汗症

手掌や腋窩の異常な多汗が特長です。足底の多汗がみられることもあります。

## 外来診療案内

外来診療は以下のスケジュールで行っています。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	—	—	河野 一瀬	—	藤森
午後	—	—	—	—	—

## 手術実績

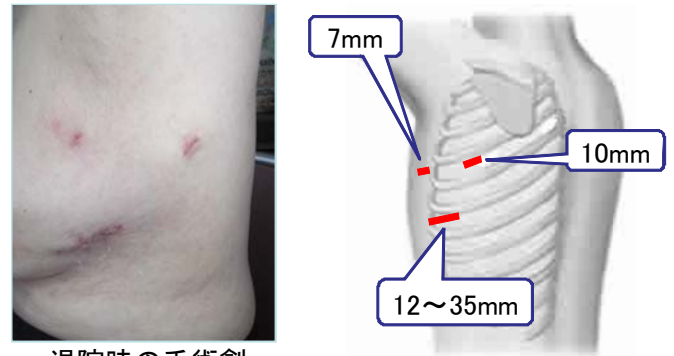
手術件数は年々増加し、2009年は387例に達しました。

387例のうち376例（97.2%）を3ポート胸腔鏡下手術で行いました。また、左右の手術を続けて行う両側一期的胸腔鏡下手術を43例（11.1%）に行いました。手術を行った患者さまは全員元気に退院され、入院中に亡くなられた患者さんはいませんでした。

※ 疾患別手術件数の年次推移は下記のグラフをご参照下さい。

## 当科の特徴

当科では、胸腔鏡と言われるカメラを用いて、右上図のような3箇所小さい傷から手術を行う胸腔鏡下手術を積極的に取り入れています。



退院時の手術創

小さい傷で手術を行うことにより、以下のような利点があります。

- 術後在院日数を短縮できる。  
手術後2時間で飲水し、手術当日の夕食から食事が開始となります。

肺癌に対し胸腔鏡下肺葉切除術を行った場合

⇒ 術後在院日数 5日（2009年、中央値）

転移性肺腫瘍や気胸、縦隔腫瘍などの場合

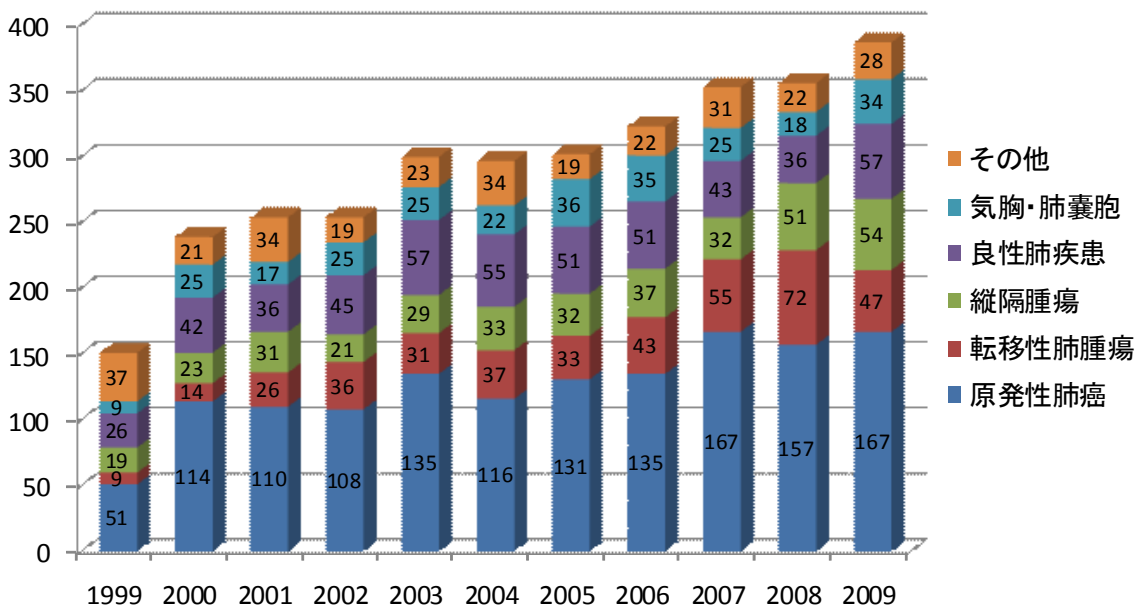
⇒ 術後在院日数 4日（2009年、中央値）

- 高齢者や合併症を有する方に対しても手術を可能にする。

2009年には、80歳以上の方24人に対して手術を行いました。

また、もともと心臓・肺・腎臓・肝臓の疾患や糖尿病など全身の病気をお持ちの方に対しても、手術によるダメージが比較的に軽いいため、安全に手術を行うことが可能です。

手術が必要な患者さんには、外来を受診されてから原則として2～3週間以内に手術を行うよう、迅速な対応を心がけております。



△ 疾患別手術件数の年次推移

# 『医療連携懇談会』

## 開催報告

副院長・医療連携部長 竹内 和男

地域の先生方をお招きした医療連携懇談会が2月22日（月）に開催されました。この会は地域の先生方と当院医師との交流により医療連携をより強固なものにするために始まり、今年で第8回目を迎えました。港区内を始め近隣の先生方も参加され、合わせて約200名のご出席を頂きました。

今年は「胃癌治療の最前線」というテーマで消化器内科医長の布袋屋修医師から『胃腫瘍に対する内視鏡的治療の最前線』、消化器外科医長の木ノ下義宏医師から『胃癌患者に対する手術と術後フォローアップ』と2題の講演が行われました。

その後の懇談会では、普段患者さんの情報などは紹介状や電話でのやり取りが多く、直接お会いすることの少ない地域の先生方と当院医師が交流を持って大変貴重な時間を過ごすことができました。

現在では、病院ですべての医療を完結することは難しくなっています。普段は地域のかかりつけの先生に診てもらい、専門的な検査や治療が必要な時は病院でといった機能分化が進められています。虎の門病院は今後とも地域の先生方とともに患者さんの立場になって医療連携を進めていきたいと思っています。



〈講演会の様子〉



〈懇談会の様子〉

# 駐車場利用制限

## について

事務部 総務課

虎ノ門と新橋を結ぶ環状二号線（通称「マッカーサー道路」）整備事業を東京都が進めています。道路予定地上にあります正面玄関前の北館（旧健康管理センター）の土地、建物が収容されるため、建物の取り壊しが今年の11月より始まります。

それに伴いまして正面玄関への車の乗り入れ、北館下の平面駐車場および駐車場横から正面玄関まで続く道路の使用は、**10月29日（金）まで**となります。

今後詳細が決まりましたら、広報誌やホームページ等でお知らせします。

正面玄関付近の様相が大きく変わる工事となり、皆さんにご迷惑をお掛けいたしますが、ご協力をお願い致します。



〈正面玄関へ続くスロープ〉



〈北館下の平面駐車場〉



〈駐車場横から正面玄関まで続く道路〉



# フランス留学記 ①横浜の港から

元精神科部長 栗原 雅直

私がフランスに留学したのは、1960年から2年間である。それまで電気ショックやインシュリンなどしか治療方法がなかった精神分裂病の患者に、初めて薬が効くことを実際に証明したのがパリ大学のサンタンヌ病院で、その精神薬理の実験室が留学先だった。どうしたら患者に効く薬を開発できるか、また新しい実験方法を開発して、いち早く薬の効果を証明しようと、世界中の学者が懸命になっていた。だからこの教室は、向精神薬研究のいわばメッカだったのである。

当時の経済状況や外貨事情から、およそ海外で研究生活を送ることなど夢物語だった。だが、大学の医局の先輩である小木貞孝（加賀乙彦）先生が、フランス政府の給費生試験にパスして留学するという話を聞かされてビックリした。「フランス語を勉強すればフランスに行けるんだ」ということを30歳になった私が初めて認識したのである。

留学生試験はフランス語の書き取り、和文仏訳、仏文和訳が一次試験で、さらにフランス語の口頭試問がある。にわか仕込みの私のフランス語はしどろもどろで、1年目は見事落第。やっと2年目に願いが叶った。

当時は飛行機の南回りのルートがやっと始まったばかり。私は昔ながらの船旅を選んだが、横浜の港から35日間かけてフランスのマルセイユまでのんきな旅なのである。船の旅客と見送り人をつなぐ七色のテープが切れ切れになり、これが今生の生き別れかも知れないと思うと、なんとなく心が悲愴感に溢たされた。横浜の港の灯がいつまでも遠くに見え、「横浜の港から船に乗って」という童謡をいつまでも口ずさんでいた。妻子と別れる悲しさとこれからの生活の心細さのためか、いつまでも涙していたのである。

フランス政府からは、生活費として毎月4万フラン（日本円にして約2万9千円）が支給される。当時私は東大病院の助手だったので、行きの2等船賃（2人部屋）の17万5千円は、幸い文部省から出してもらえた。だが、当時の給料は約3万円で、休職給としてその7割が留守宅に支給される。当時は銀行振込みなどなかったので、家内は毎月大学に給料を貰いに行っていた。これで留守宅の母、妻、子供2人の生活を賄うのだが、毎月ほぼ1万円は赤字だったのである。

フランスでの生活の原資は例の4万フラン。何しろ日本はまだ高度成長以前で、蕎麦屋のモチ、カケが15円、ザルだと20円、ノリが付くだけで5円高いのは理不尽だなどと思っていた時代だった。そしてパリのレストランで一寸まともな食事をすれば、5千円1万円は飛んでしまう。物価の差もあったが、パリと東京の両方で、どうやって生き延びるかがまず問題だった。研究室に内緒でガイド通訳などのアルバイトをしたし、映画のエキストラもしたことがあった。

船の旅ではあちこちに寄港する。一番印象に残ったのがサイゴンだった。すでにフランスとベトナムとの戦いが始まっており、街は物騒な雰囲気に入れられ、夕方になるとどの家も鉄のシャッターを下ろしていた。先輩に紹介された華僑のMさんに市内を案内してもらったが、さらに2人の友人を連れていった。いざ食事ということになり、ベトナム料理のレストランを試みたら、香草の香りがきつすぎたし、食後のお勘定になって「每人いくら」と割り勘を申し渡されてしまった。見知らぬ人に何の理由もなく奢られることなどあるはずがない。世界の厳しさを思い知らされた。

船がインド洋にさしかかると、海も荒れがちで、食堂ではスープ皿を固定する枠がテーブル毎にセットされた。私は船酔いもせず、平気で過ごせた。船にはプールがあって、一等二等の船客は泳げるけれど、三等以下は泳いではいけないという階層社会だった。また船が揺れるたび、1メートル以上もプールの水面が上下するので面白かった。また二等以上には昼夜の食事にワインが付く。そんなこととは露知らず、母が持たせてくれた赤玉ポートワインを捨てることも出来ず困惑したが、ここでも自分の無知を思い知らされた。



〈留学出発前の横浜港  
（中央が筆者）〉



〈乗船したカンボジャ号〉



〈筆者の家族（横浜港で）〉



## 虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時選定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

### 本院診療受付時間(初診)

内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
外科	8:30 - 11:00
脳神経外科	月～金 8:30 - 11:00
	月(第2・4)・金 13:00 - 14:30
麻酔科	月・木 13:00 - 14:30
整形外科	8:30 - 10:30
	(紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
形成外科	8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 10:30
	(予約された方は予約時間に合わせて お越しください)
泌尿器科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

\* 整形外科予約直通:03-3583-1406(受付時間14:30-17:00)

\* 産婦人科予約直通:03-3560-7751(受付時間14:30-16:30)

### 虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分  
車でご来院の方:有料駐車場があります  
(30分:300円 患者さん割引あり)

### 虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1

TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶が谷駅より徒歩15分  
宮崎台駅よりバス5分  
(1時間に3本)

### さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1

さいたま新都心合同庁舎2号館1階

TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分

JR埼京線 北与野駅 徒歩8分

(診療科) 内科・精神科・歯科

平日 AM 9:00~11:30 PM 1:30~4:00



全面禁煙

当院は平成21年5月11日より敷地内全面禁煙となりました。  
ご協力お願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.toranomon.gr.jp>

### 分院診療受付時間(初診)

	午前 8:30-10:30	午後 1:00-3:30
内科総合診療科 (一般内科)	○	○
肝臓内科	週による	週による
血液内科	火	×
内分泌代謝科	○	月
呼吸器科	金	火・水
消化器内科	×	水
神経内科	月	水
循環器センター	×	水(第1)
腎センター(内科)	月・火・水・木	月・火・金
腎センター(外科)	月・火・金	×
精神科	×	月・火・水・木
小児科	×	月・水・金
皮膚科	×	火(第2・4) ※午後1時~2時
外科	火・木(第2・4)・金	水・金
整形外科	○ ※月は午前10時~	×
泌尿器科	×	木
歯科	○	○

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

### 人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属

健康管理センター・画像診断センター

(直通) 03-3560-7777 (平日11:00~16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

### 当院でセカンドオピニオンの 提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(完全予約制)

(料金) 30分:21,000円(延長15分毎:10,500円追加)

本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141